

2025年度 第2回自己評価・学校関係者評価委員会

2026年3月9日

学校法人国本学園 国本幼稚園

1. 保育方針「子どもらしさ、明るさ、素直さの中に 自立心の強い、感謝の出来る子を育てます」

保育方針を踏まえ、以下のような園児を目指します。

- ・明るく元気に協調性を持つてのびのびと活動できる園児
- ・思いやりがあり、素直で礼儀を大切に作る心をもった園児
- ・感謝の気持ちをもって何事にも積極的に取り組む園児
- ・自分から興味関心をもって物事に取り組み、よく考え工夫しながら表現することを楽しめる園児
- ・自然体験や農園体験などを通して感動する心もち、物を大切に作る等 SDGs への関心をもてる園児

2. 5つの保育目標

- ・思いやりを持ち、感謝する心、礼儀を大切に作る心を育む
- ・自分から興味関心をもって物事に取り組み、よく考え工夫しながら表現する力を身に付ける
- ・友達との関わりの中で、協調性を育む
- ・園外保育や農園体験などを通して自然に親しみ、感動する心を育む
- ・国際化するこれからの社会で活躍できる語学力や行動力の素地を身に付ける

3 本年度重点的に取り組む目標・計画

知的好奇心を刺激し活性化させるために適切な環境を整える（4-1）

心身ともに健康な体づくり（4-2）

リトミック、英語活動の見直しと内容の充実（4-3）

4 評価項目並びに具体的保育活動

	評価項目	評価	具体的保育活動
1	保育活動の内容や実践を見直し、知的好奇心を刺激し活性化させるために適切な環境を整える	A	子ども達同士の話し合いや発表活動を通して、自分の言葉で相手に考えを伝え、皆で共有できるようにする。共有したことを活動につなげ興味関心をひろげる。木育活動や栽培物を育てる活動を充実させる。
2	心身ともに健康な体づくり	C	近くの公園（ふれあい広場）まで歩いたり、学園の屋上に上がったりを体づくりに活かしながら活動する。保育室から出て、体を動かす機会を増やす。
3	リトミックと英語活動の内容をさらに見直し、より充実した活動にしていく（学校評価の活動3年目）	B	リトミックの専門講師と子ども達の関わりを見ながら保育者が指導法を学んだり、保育者自身がリトミックを子ども達と楽しむ環境をつくる。 ネイティブ講師と保育者がコミュニケーションをとり、子ども達が楽しく英語に親しめるような活動を模索する。

評価（A：十分に成果があった B：成果があった C：少し成果があった D：成果がなかった）

5 総合的な評価結果

評価	理由
B	<p>◎各学年、年齢に合わせた発表活動や話し合い活動を保育者が意識しながら取り入れることが出来た。園内研修において中間報告を共有することで、話し合いの場を取り入れていくことの重要性を確認することも出来た。子ども達が日々の生活や遊びの中で発した言葉が主体的な学びへとつながっていることを実感することができ、加えて幼稚園での各学年の話し合い活動の目標も全体で確認することができたことは今後につながる良い機会となった。自分の考えを相手に伝えたり、友達の話の聞いたり、共に相談しながら活動につなげたりすることで、より子ども達の世界が広がることを実感できた。</p> <p>栽培物については、学年ごとに様々な野菜や植物を育てながら、子ども達が興味関心をもつような働きかけを保育者は積極的に行った。今年度は、ほうれん草、白菜、ミニトマト、小松菜、しいたけ、なす、ピーマン等を育て、それらの野菜を食べる活動を通して食育にもつなげることが出来た。</p> <p>◎体づくりについては、保育者全員が意識することは出来ていたが、行事の準備や日々の活動の中では、なかなか園外に学年全員で出ていくことが難しかった。そのため園庭や屋上、室内で体づくりを意識した活動にとどまってしまった。転倒の際、手が出ず、顔にけがをする子どもが多かったという報告もあり、その点も気にしていく必要を感じている。日案や週案をたてる際に体づくりを意識した遊びの時間を取り入れたり、学年全員ではなくクラスごとに園外に出るやり方等も模索しながら、今後も心身ともに健康な子ども達の育成に努めたい。</p> <p>◎リトミックについては、今年度から同じ指導者（先生）に全学年を見ていただくようにした結果、どのクラスも集中して楽しく活動することが出来た。次年度も同じ先生に指導していただけるので、今年度の指導が継続されることで教えていただいている内容の定着が想像でき、今後の楽しみとなった。</p> <p>英語については、今年度も授業以外で朝の自由遊びの時間にネイティブの先生にクラスをまわってもらい、子ども達とふれあう環境を作るよう心掛けた。ただ、クラスによってネイティブの先生が入る時間に偏りが見られたので、次年度は平均的に入ってもらえるように体制を整えたい。授業内容については、小学校との連携も含め、カリキュラム作りを引き続き進める必要がある。子ども達が楽しく学ぶ環境づくりは、補助に入っている保育者の対応力も重要になってくるので、保育者間で学ぶ機会を作っていきたいと考えている。</p>

評価（A：十分に成果があった B：成果があった C：少し成果があった D：成果がなかった）

6 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	活動内容や実践を見直し、知的好奇心を刺激し活性化させるために適切な環境を整える	<p>① 年間の活動の中で探求学習に相当する幼稚園の活動を学年ごとにまとめる。継続して行う活動、その都度で行う活動にわけまとめ、教員間で共有する。</p> <p>② 木育活動を園外の活動に留めず、幼稚園全体の特色として園内でも行えるようにする為にはどのような活動が可能か各学年で考えながら取り組んでいく。</p>
2	体づくり	近くの公園（ふれあい広場）まで歩いたり、学園の屋上に上がったりを体づくりに活かしながら活動する。保育室から出て、体を動かす機会を増やす。

7 学校関係者評価委員会の評価

- ◎ 国本小学校でも探究活動は行っているが、5・6年生が中心なので、今後は低学年にも活動を下ろしていけるよう検討していきたいと考えているところである。幼稚園の「疑問から調べてみよう」という活動が探究の初歩段階で小学校の探究学習の基礎であると感じた。探究の芽をさらに深めていけるようにしたい。体操では、ドッジボールを行う前段階の年少組さんの活動を見させていただき、感心した。ボールにぶつからないように逃げるということから本格的なドッジボールに移行していくことがわかり、小学校の体育教員にも取り組みの様子を伝えたいと思った。英語については、年少組から小学校6年生までの通しのカリキュラム作りが進んでいるので、連携をとりながら形にしていきたいと思う。保護者アンケートについては、小学校でも始めたいと考えているところ。アンケートを通して問題点を洗い出すことで、より良い活動や今後の発展に繋がっていくのだということを感じた。

- ◎ 毎回、子ども達の様子に癒される。温かいものを感じた。幼稚園が重点目標にした「お互いに言葉をかかわす」ということ、幼稚園で行っていることが大人になるまで続いていけば・・・と思う。身近なところでも、最近の事件でも考えさせられることが多い。幼稚園での活動が続いていけば、自然に言葉も増えて、自分の思いをどう表現したら相手に伝わるかということも体験できると思う。言葉で思いを表現して相手と関わる体験は、大人になっても必要な力で、この活動を継続して行ってほしい。

- ◎ 兄弟3人が通わせて中で、今年度が一番英語の定着が良いように感じる。英語が自然に入ってきているようで、教育の効果を実感している。成長に合わせた課題を、段階をふんで成長に繋げてくださっていること、子ども達の為に色々考えてくれていることに感謝したい。

- ◎ 先生方が熱心に真摯に保育をしている姿がすがすがしい。保護者アンケートに成長を感じていると答えた方が多いのは大変励みになると思う。園の実践が今年度もさらに充実してきていることがわかったので、ぜひ継続してほしい。園内研修の中間報告で、話し合い活動の各学年の目標を整理したことは大変良いと思うが、年少組の目標には、まず安心して保育者に話ができるという文言を入れていることが大切。また、すぐ言葉にできない園児もいるので、体で表す、表情で表すということも入れながら、それを言葉で表せるように、急ぎ過ぎず、その子の表現そのものを大切にしてほしい。次第に言葉になることを目標にした方が良い。

体づくりの評価Cは、低いのではないかと感じた。どこかに出かけるだけが体づくりではない。みんなではなく、個人活動も体づくりにつながると思う。机やイスを動かすこと、忍者ごっこやねごっこなど、普段の動きと違うことをやることも体づくり。体づくりを広くとらえてみてはどうか。

話し合い活動では、年少さんの事例や交流の事例は素晴らしいと感じた。ただ、クラスの話し合い活動において、全員が意見を言っているかということ、そうではないこともある。今話し合いが一人一人の話し合いになっているか、どんな風にそのことが決まっていたかということころは真摯に見ていき、先生の満足に終わらないように、もしかするとその中に、子ども達の知的好奇心や探究がもっと幅広くなっていく芽が必ずあると思っている。

- ◎ 幼稚園から中高までの探究活動が国本学園の強みになるようにしたい。学園全体で取り組む「探究」と「英語」のプログラムにおいて、幼稚園での実践は大きな強みになると期待している。

2025 年度自己評価 保護者アンケートについて

【目的】国本幼稚園では園の教育活動や園運営について学校評価を行い、よりよい幼稚園づくりを目指しています。保護者の皆様にご意見を伺い、今年度の重点目標の達成度を自園及び学校評価委員会で評価し、次年度以降の改善につなげていく。

【回答】207 家庭中 160 家庭からのご回答を頂きました。

【回答期間】2026 年 2 月 17 日～2 月 23 日（パステル apps アンケート機能にて）

【回答形式】5 点：満足している 4 点：ほぼ満足している 3 点：どちらともいえない 2 点：あまり満足していない 1 点：満足していない（合計点数／家庭数 160×5 点満点 800 点）

Q1.幼稚園の教育方針や理念を理解してお子さんを預ける事ができていますか？ 753/800 点

Q2.お子さんは幼稚園に行くことを楽しめていますか？ 743/800 点

Q3.幼稚園に通ってお子さんが成長していると感じますか？ 778/800 点

Q4.幼稚園はお子さんについて支援している、相談しやすい場所だと感じますか？ 730/800 点

Q5. 幼稚園は多くの体験や遊びを通して子どもたちの興味関心を広げていると感じますか？

（話し合いや発表、木育・栽培活動など）

【重点目標】保育活動の内容や実践を見直し、知的好奇心を刺激し活性化させるために適切な環境を整える。

733/800 点

Q6. 幼稚園は子どもたちの心身ともに健康な体づくりに取り組んでいると感じますか？

【重点目標】心身ともに健康な体づくり

729/800 点

Q7. リトミック・英語活動の内容は充実していると感じますか？

【重点目標】リトミックと英語活動の内容をさらに見直し、より充実した活動にしていく

（学校評価の活動3年目）

695/800 点

Q8.園からの情報発信は適切だと思いますか？

補足説明：クラスだより、ホームページ（くにもと diary）、Instagram、YouTube を通して幼稚園の様子がわかりますか？

709/800 点

Q9.子育てについて何か不安なことはありますか？（記述式）

Q10.今後、園に期待することがあれば教えて下さい。（記述式）

Q11.何かご意見・ご要望があれば教えて下さい。（記述式）

Q9～11 の記述式のご回答、ご意見は教員内で共有をし、改善に努めてまいります。